

難聴者の補聴器購入に係る負担軽減を求める請願

討論要旨 勝股修二議員

補聴器については、確かにその管理の難しさや、雑音により使わなくなってしまうといった問題点も確かにあり、私自身も多くの方で補聴器買ったけれども使わなくなったよという方は何人もお会いをしております。

しかし、コミュニケーションが困難となることで、周囲との人間関係に問題が生じたり、刺激が少ないことで認知症が発症、悪化させたりしてしまうなど、難聴によるデメリットは多種多様であると考えられております。私自身も、難聴になりコミュニケーションが困難になった方々、非常につらい思いをしてみえる方々にたくさんお会いをしております。

その中でも、本市市民の福祉を増進するためには、積極的に検討を要する課題であり、その制度と補助額によっては実現可能な政策であると考えております。最近では、補聴器のサブスクリプションサービスも提供されており、十分にその有効性を確認してから補助を行うなど、購入費補助が無駄にならない形での制度設計を御検討いただくよう要望を申し添えて、請願第2号 難聴者の補聴器購入に係る負担軽減を求める請願に対しての賛成討論とさせていただきます。